

SCARY AND FUN SWISS PICTURE BOOK

こわくて、たのしい スイスの絵本展

～クライドルフ、フィッシャー、ホフマンの世界～



フェリックス・ホフマン 絵本「おおかみと七ひきのこやぎ」より 小さな絵本美術館蔵 ©フェリックス・ホフマン

2021年1月30日(土)～3月28日(日)

開館時間 10:00～18:00(入館は17:30まで) 休館日 月曜日 ※新型コロナウイルスの影響で変更の場合があります。

観覧料 一般 1,000円(800円)、65歳以上・大学生 500円(400円)、高校生以下 無料

※神戸市内在住の65歳以上の方は無料です。※()内は有料入館者30名以上の割引料金。※小学生以下は保護者(大学生以上)の同伴が必要です。

※神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入場券(半券)をお持ちの方は割引が受けられます。

主催：神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社
後援：在日スイス大使館、サンテレビジョン、ラジオ関西

協力：小さな絵本美術館、アサヒビール大山崎山荘美術館
展示協力：大阪樟蔭女子大学

K 神戸ファッション美術館
KOBE FASHION MUSEUM

想像力をくすぐる、懐かしくて
不思議な絵本の世界へようこそ！

スイスの文化が息づく絵本を紹介する展覧会を開催いたします。
エルンスト・クライドルフ(1899-1970)は、アルプスの草花を擬人化した『花のメルヘン』をはじめ、数々の絵本を手がけ、ヨーロッパにおける絵本画家の先駆けとなりました。ハンス・フィッシャー(1900-1958)は、勢いのある線を重ねて絵を描き、『ブレーメンの音楽隊』や、『こねこのぴっち』などを発表し、人気を博します。フェリックス・ホフマン(1911-1979)が、わが子へ贈るために描いた『おおかみと七ひきのこやぎ』は、日本でも愛される絵本となっています。また、『スイスの伝説』などユーモアあふれる挿絵も描きました。草花や風俗、独自の伝説などを通じ、スイスらしさをそれぞれに表現した彼らが手がけた絵本や挿絵には、楽しそうに見えていてもじつはこわい場面や、こわそうに見えていても楽しい場面が描かれています。

本展では長野県にある小さな絵本美術館協力のもと、ハンス・フィッシャーの手描き絵本、エルンスト・クライドルフの初版リトグラフやフェリックス・ホフマンの原画など約150点をご紹介します。おなじみのグリム童話や、スイスの伝説…。すこしこわいけれど、実はとても楽しいスイスの絵本の世界をお楽しみください。



フェリックス・ホフマン
絵本『おおかみと七ひきのこやぎ』より
小さな絵本美術館蔵 ©フェリックス・ホフマン

こわくて、たのしいスイスの絵本展

SCARY AND FUN SWISS PICTURE BOOK



エルンスト・クライドルフ 絵本『花のメルヘン』より 小さな絵本美術館蔵



ハンス・フィッシャー 絵本『ブレーメンのおんがたい』より
小さな絵本美術館蔵 ©ハンス・フィッシャー

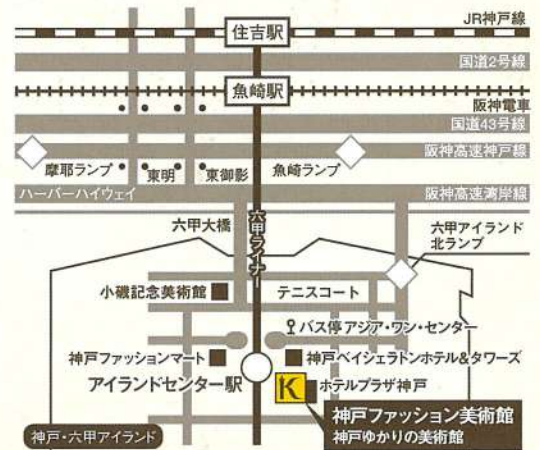


ハンス・フィッシャー 絵本『こねこのぴっち』より 小さな絵本美術館蔵
©ハンス・フィッシャー

同時開催 | ドレスコレクション展「山に暮らす人びと」

色鮮やかな刺繍や銀細工など、世界各地の山に暮らす人びとのファッションは多様です。当館所蔵の20世紀初頭の作品を中心に、ヨーロッパ・アルプス、北西アフリカのアトラス山脈、南アメリカの高地グアテマラ、東南アジア山岳地帯のハレの衣装を紹介します。

アクセス：[電車ご利用の場合] ●新幹線「新大阪駅」でJR神戸線乗換、「住吉駅」まで快速約25分、六甲ライナー乗換 ●JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」で六甲ライナー乗換、「アイランドセンター駅」下車、南東徒歩3分 [バスご利用の場合] ●新幹線「新神戸駅」より、みなと観光バスにて「神戸ベイシェラトンホテル」まで約26分、南東徒歩5分 ●JR「三ノ宮駅」より、みなと観光バスもしくは日交シティバスにて「神戸ベイシェラトンホテル」まで約18分、南東徒歩5分 ●阪急「御影駅」より、みなと観光バスにて「アジア・ワン・センター」まで約25分、南東徒歩5分 ●阪神「御影駅」より、みなと観光バスにて「アジア・ワン・センター」まで約15分、南東徒歩5分 ●JR「住吉駅」より、みなと観光バスにて「神戸ファッションプラザ前」まで約18分、南東徒歩5分 [駐車場のご案内] ●お車の方は、美術館地下の神戸ファッションプラザ駐車場をご利用ください(1日最大550円)



K 神戸ファッション美術館
KOBÉ FASHION MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町2-9-1
TEL 078-858-0050 FAX 078-858-0058
http://www.fashionmuseum.or.jp/

